

第8回 肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

【 これまでの取組状況と今後の予定について 】

関係機関の取組状況整理一覧表

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
1)ハード対策の主な取組																			
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																			
		<p>〈肱川〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダム改修 ・菅田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 <p>〈久米川〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米川工区の段階的嵩上げ <p>〈流域内河川〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河床整正等による流下阻害箇所の解消 	R、p、q、r																
■危機管理型ハード対策																			
		<p>〈肱川〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強 <p>〈清永川〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要水防箇所の堤防補強 	R、p、q、r																
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
		・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	B	・肱川上流部の氾濫開始が他の区間よりも早い地点において、水位計を整備する事により、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用予定	H28年度	大洲市池田集会所に水位等監視カメラ設置(H29.3.10)	【内容】 浸水状況と肱川の水位の相関関係をふまえて、避難勧告等基準を見直す 【時期】 H30年度以降												
		・肱川減災対策計画に基づく排水路の整備	P	・肱川減災対策計画に基づき対応可能箇所より排水路等の整備を実施	平成30年度を目処	・柚木地区減災対策工事(排水路整備)完了 ・田淵地区減災対策工事(止水壁)施工中※H29繰越	【内容】 田淵地区減災対策工事(釜場等設置) 【時期】 平成30年度実施												
		・国管理区間については、避難行動に必要な映像提供を考慮した河川監視用カメラの配置計画を見直し(設置目的に応じた性能最適化・集約化等)、順次整備を実施。 ・県管理区間については、協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。	H																
		・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討を実施	H																
		・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び避難路としての活用運用整備	D																
		・水防活動の迅速化、水害対策に活用できるよう「土のうステーション」を整備	N	・家屋・店舗等の浸水を防ぐための土のうを予め備えるため、土のうステーションを3基設置。(300袋から600袋備蓄)	H28年度	土のうステーション設置(H28.5.9)													
		・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	m	・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討	H28年度から検討実施	肱川流域総合整備推進協議会の要望活動において、国に対し都谷川樋門及び滝川樋門の整備促進を要望。	【内容】 継続して要望活動を実施 【時期】 毎年実施												
		・フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 ・国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	P、m、n																

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
				(肱川) ・菅田・村島工区の暫定的堤防整備 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 (久米川) 久米川工区の段階的嵩上げ (流域内河川) 河床整正等による流下阻害箇所の解消	平成30年代中期 平成32年度 平成30年度 引き続き実施	(肱川) ・村島工区の上流部652mが完成 ・岩瀬川工区 肱川本川から約440mが完成 (久米川) 段階的嵩上げの工事推進 (流域内河川) 河床整正を実施中	(肱川) ・菅田・村島工区 【内容】 堤防整備推進 【時期】 引き続き実施 ・岩瀬川工区 【内容】 堤の管理者と移設等について協議を実施 (久米川) 【内容】 段階的嵩上げの工事推進 【時期】 平成30年度完了 (流域内河川) 必要に応じて実施									(肱川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造	H28年度～	・惣瀬箇所、小長浜箇所、旧堤撤去、鹿野川ダム改造着手。	【内容】 ・目標時期に完成するよう事業を推進
				(肱川) 宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強 (清永川) 重要水防箇所の堤防補強	平成32年度 平成30年度	(肱川) 用地買収中 (清永川) 測量設計着手	(肱川) 買収が完了した箇所から工事実施 (清永川) 【内容】 工事着手 【時期】 引き続き実施												
				・久米川で水位観測開始 ・肱川上流域において、洪水時の避難勧告等の発令判断の目安となる情報提供を検討 ・他箇所設置を検討	平成28年5月 引き続き実施 引き続き実施	・久米川水位計設置済み ・水位観測データの蓄積 ・引き続き水位観測データを蓄積し、水位設定を検討 ・引き続き検討										・越流堤箇所の越流深を計測するため、水位計による越流深の計測を実施	H28年度から順次実施	・白滝地区、春賀地区の越流堤箇所に水位計を設置	【内容】 越流堤箇所に水位計を設置 【時期】 平成30年度に設置予定
				・県管理区間については、協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討	平成29年度から検討	西予市神領において、愛媛県河川監視システムによるライブカメラを設置済。	【内容】 他箇所設置を検討 【時期】 引き続き実施									・CCTVカメラの配置について、改めて検討を実施	H28年度から検討	・CCTVカメラ映像の配信箇所の追加(川の防災情報HPでの公開)	【内容】 CCTVカメラの配置計画検討 【時期】 平成30年度より検討
																・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討	H28年度から検討		【内容】 堤防整備の進捗を加味しつつ、光ファイバーの二重化、埋設化を検討 【時期】 平成32年度までに検討
																・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び避難路としての活用運用整備	H30年度	・緊急輸送路の整備延伸	【内容】 肱川橋架け替え完了にあわせて、緊急輸送路の延伸 【時期】 肱川橋架け替え完了時
				・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討	H28年度から検討実施	未実施	必要に応じて施設強化を検討									・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	H28年度から検討実施		【内容】 樋門の施設強化については、順次検討を実施 排水機場の整備については出水状況を考慮しつつ検討を実施 【時期】 樋門の施設強化は平成32年度までに検討
																・フラップ化等の無動力化(国)を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 ・国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	平成29年度から検討実施		【内容】 八多浪排水樋門、山本排水樋門のフラップ化を検討 【時期】 平成30年度

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町						
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定			
2)ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組																						
■情報伝達、避難計画等に関する取組																						
		・避難行動等に必要の情報提供内容の検討及びその情報によるリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信及び連絡網の整備	g、h、 E、F、 G、H、 J	・農地所有者や企業等への水位等情報連絡網の整備 ・想定最大規模降雨による洪水を踏まえた情報提供内容の検討	H28年度 から順次 実施	企業に対し災害情報配信サービスについてチラシ等配布による啓発を行う。 二線堤北側農地の要連絡者に大洲市災害情報メール配信サービスの登録促進 ・パンフレット配布 ・アンケート実施 自主防災活動などの機会にチラシ等配布による啓発を実施	【内容】引き続き啓発を行う。 【時期】毎年実施															
		・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施	B	・タイムラインの作成(H28.3) ・タイムラインによる訓練の実施	H28年度 から実施	【直轄区間】 ・直轄区間はタイムライン作成済み。 ・台風の接近等に合わせタイムラインによる行動確認を実施 ・国交省とタイムライン詳細版案を元に机上訓練を実施 (H29.12.1)	【内容】 ・国交省とタイムライン詳細版の作成及び見直しを継続 ・国交省とタイムライン詳細版案を元に訓練を実施 【時期】訓練は毎年実施	・中山川については、避難勧告等の判断伝達マニュアルの改訂を踏まえて検討するほか、中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みも踏まえて住民避難計画の策定を検討する	平成33年度 度まで			【内容】中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討【時期】	・県と協力タイムラインの作成	H29年度 から検討 実施			【内容】県の案を基に協議を開始【時期】平成30年度	・中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みも踏まえて住民避難計画の策定を検討する	平成33年度 度まで	避難勧告等の判断・伝達マニュアルを策定済	【内容】マニュアルは国のガイドライン見直しや台風対応等の課題を踏まえ随時改正していく【時期】	
		・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	c	・計画規模降雨を超える洪水を対象とした新たなタイムラインの作成	H28年度 から検討 実施		【内容】 国交省と内容協議のうえ作成 【時期】 H30年度以降						・県と協力タイムラインの作成	H29年度 から検討 実施			【内容】 県の案を基に協議を開始【時期】 平成30年度					
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討。 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	C、D	・近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	H28年度 から検討 実施		【内容】 広域避難に対する調整、避難経路の検討 【時期】 H30年度以降	・近隣市町との広域避難に関する調整・検討 ・県と協力避難路等の整備を検討	平成32年度 度まで			【内容】 継続して検討【時期】	・近隣市町との広域避難に関する調整・検討	H29年度 から検討 実施			【内容】 近隣市町との広域避難に関する調整・検討【時期】 随時	・近隣市町との広域避難に関する調整・検討	平成32年度 度まで		【内容】 継続して検討【時期】	
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	C、D、 I、e	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	H28年度 から検討 実施		【内容】 避難所、避難経路の検討 【時期】 H30年度以降						・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討	H28年度 から検討 実施	検討を開始。		【内容】 引き続き検討を実施。 【時期】 未定					
		・洪水予報文・水位到達情報文の改良	A																			
		・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	a、H																			
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表対象河川の検討を実施	b	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制強化について協議実施	平成28年度 から検討 実施		【内容】 リスク情報の周知等を含めた避難体制強化について協議実施 【時期】 H30年度以降	・中予地方局建設部で設置される協議会での協議を踏まえて検討する	平成33年度 度まで			【内容】 中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討【時期】	・作成・周知済み	H29実施			・中予地方局建設部で設置される協議会での協議を踏まえて検討する	平成33年度 度まで		【内容】 中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討【時期】		

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
				・アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録者の増加	H28年度から順次実施	各種説明会等において、チラシの配布や説明を実施	引き続き実施												
・県と協力タイムラインの作成	H29年度から検討実施	検討中	【内容】 ・県と連携したタイムラインの作成。 【時期】 ・H30年度～	・国、市と協力タイムラインの作成及び内容精査を支援	H28年度から実施	検討開始	【内容】 西予市及び関係機関との協議に着手 【時期】 平成30年度中	・関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時	具体的な訓練参加なし	関係機関の訓練に積極的に参加し、発災時の警察職員の対応能力及び管内住民の自助・共助意識の向上を図る。	・関係機関が作成した、または作成するタイムラインの気象情報の記述に関するアドバイスや確認作業をする。 ・訓練実施機関からの要請をうけて、訓練に使用する気象情報に関する資料を作成する。	随時			・タイムラインは作成済み(H28.3) ・関係機関(国・県・市)の行動状況や連携状況を踏まえた精査 ・タイムラインによる訓練の実施	H28年度から実施	・大洲市とタイムライン詳細版の作成。 ・上記のタイムライン詳細版を元に机上訓練を実施。(H29.12.1)	【内容】 ・大洲市以外の関係機関も含めたタイムライン詳細版の作成を実施予定。 ・上記のタイムライン詳細版案を元に訓練を実施予定。 【時期】 訓練は毎年実施
・県と協力タイムラインの作成	H29年度から検討実施	検討中	【内容】 ・県と連携したタイムラインの作成。 【時期】 ・H30年度～	・国、市と協力タイムラインの作成及び内容精査を支援	H28年度から実施	未実施	【内容】 作成及び内容精査を支援 【時期】 未定	・関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時	具体的な訓練参加なし	関係機関の訓練に積極的に参加し、発災時の警察職員の対応能力及び管内住民の自助・共助意識の向上を図る。	関係機関が作成した、または作成するタイムラインの気象情報の記述に関するアドバイスや確認作業をする。 訓練実施機関からの要請をうけて、訓練に使用する気象情報に関する資料を作成する。	随時			・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	H28年度から検討実施		【内容】 ・計画規模降雨を超える洪水を対象したタイムラインの検討 【時期】 平成32年度までに検討
・近隣市町との広域避難に関する調整・検討実施	H29年度から検討実施	検討中	【内容】 ・関係機関と協議。 【時期】 ・H30年度～	・市町が広域避難を検討する場合に調整を支援 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂の提供を検討	H28年度から検討実施	-	広域避難の検討を支援									・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	平成30年度より検討実施		
																・計画規模降雨を超える洪水も対象とした浸水地区の避難所、避難経路等の検討にかかる支援	H28年度から検討実施		【内容】 平成30年度に検討実施
				水位到達情報文の改良	H28年度から検討実施	-	水位到達情報文の改良を検討					・洪水予報文の改良	H28年度	・洪水予報文の改良を実施	【内容】 ・継続的に改良を実施 【時期】 毎年度見直しを実施	・氾濫が発生した場合の浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良	H28年度	・洪水予報文の改良を実施	【内容】 ・継続的に改良を実施 【時期】 毎年度見直しを実施
				・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H29年度から実施		【内容】 公表内容の検討 【時期】 未定	・弘川(大洲市県管理区間)については、平成29年度に、国と協力して、浸水想定区域図を作成し、大洲市に提供済。 ・小田川(内子町知清～宿間)については、平成29年度に、浸水想定区域図等を作成し、内子町に提供済。 ・弘川(宇和川)については、平成28年度に、浸水想定区域図等を作成し、西予市に提供済。							・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H28年5月	・平成28年5月30日に直轄区間を公表 ・弘川(大洲市県管理区間)の浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成支援(H29)		
・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について県との協議を実施	平成28年度から検討実施		【内容】 ・公表内容等の検討 【時期】 ・H30年度	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について大洲市、内子町との協議を実施	平成28年度から検討実施		【内容】 公表内容の検討 【時期】 未定	・弘川(大洲市県管理区間)については、平成29年度に、国と協力して、浸水想定区域図を作成し、大洲市に提供済。 ・小田川(内子町知清～宿間)については、平成29年度に、浸水想定区域図等を作成し、内子町に提供済。 ・弘川(宇和川)については、平成28年度に、浸水想定区域図等を作成し、西予市に提供済。											

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の 対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町					
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定		
		・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知	a, b, d, e, i	・想定最大規模降雨による洪水想定区域も踏まえたハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知 ・また、国からの最新の浸水区域図等データによりハザードマップ(統合型防災マップ)の作成・配布	H28年度から順次実施	県管理区間の浸水区域のデータ提供について国・県協議実施	【内容】 特定最大規模降雨による藍川全域の洪水想定区域を含めたハザードマップを作成し各戸配布する。 【時期】 H30年度	・浸水想定区域の改訂がなされた段階で、市ホームページや防災啓発活動などを通して周知を図ると共に、防災マップへの反映についても検討する	平成33年度まで			【内容】 継続して検討 【時期】	作成・周知済み	H29実施			・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知	平成29年度改訂	平成30年3月に新しい防災マップを作成	【内容】 全戸配布及びHPで公表予定 【時期】 H30年5月	
		・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水に対する被害軽減のための「災害・避難カード」の取組	D	内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」への取組を実施	H28年度	第1回WS開催(H28.8.28) 第2回WS開催。災害・避難カードの作成。(H28.11.20) 第3回WS開催。避難訓練を実線。(H29.1.29)															
		・情報伝達手段の多重化の検討を実施	E, F	・情報伝達手段の多重化を検討	H27年度から検討実施	庁内関係機関と検討	【内容】 引続き情報伝達手段について検討 【時期】 H30年度														
		・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える「ホットライン」を構築し、毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	A	・河川管理者と市長等との河川情報を伝える「ホットライン」を構築し、毎年、協議会において連絡体制を確認する。	平成30年度出水期まで	大洲河川国道事務所が実施する訓練の中でホットラインに係る訓練を実施	【内容】 連絡体制の確認及び訓練を引き続き実施 【時期】 毎年実施	・出水期前における連絡体制の確認の実施	平成30年出水期まで			【内容】 今後開催予定の防水防備会議において連絡体制を確認 【時期】	・藍川(上流域)の水位周知区間において、県と「ホットライン」を構築	平成29年度から実施	・ホットラインの構築については合意済み。	【内容】 協議会において連絡体制を確認 【時期】 随時	・出水期前における連絡体制の確認の実施	平成30年出水期まで		【内容】 水防協議会において連絡体制を確認 【時期】 H30年6月5日予定	
		県管理区間については、 ・指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施し、「取組方針」にとりまとめ。 ・市町村の役場等に係る河川の内、未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供。 ・毎年、協議会において、水害危険性の周知の実施状況を確認。	b, B, g	・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	平成33年度を目途		【内容】 情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討 【時期】 H30年度	・中山川については、避難勧告等の判断・伝達マニュアルの改訂や水位情報板の更新、中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みも踏まえ、周知方法等について検討する	平成33年度まで			【内容】 中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討 【時期】	・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	H33年度を目途	【内容】 住民への周知内容や方法を検討 【時期】 平成30年度	・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	平成33年度を目途		【内容】 住民への周知内容や方法を検討 【時期】		

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
・浸水想定区域が設定された段階で、町ホームページや自主防災組織等への周知を図ると共に、防災マップへの反映についても検討する	H29年度から検討実施	・マップの周知方法等の検討	【内容】 ・防災マップの作成配布、町HPでの公開 【時期】 ・H30年度	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について、国、大洲市との協議を実施	平成28年度から検討実施	・肱川(大洲市県管理区間)については、平成29年度に、国と協力して、浸水想定区域図を作成し、大洲市に提供済。 ・小田川(内子町清～宿間)については、平成29年度に、浸水想定区域図等を作成し、内子町に提供済。 ・肱川(宇和川)については、平成28年度に、浸水想定区域図等を作成し、西予市に提供済。										・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域も踏まえたハザードマップ(統合型防災マップ)の改良に関する支援	H28年度から順次実施	・平成28年5月30日に公表した浸水想定区域図等を提供	
				内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」への取組を実施	H28年度	第1回WS開催(H28.8.28) 第2回WS開催。災害・避難カードの作成。(H28.11.20) 第3回WS開催。避難訓練を実線。(H29.1.29)						内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」作成への協力を実施	H28年度	第1回WS開催(H28.8.28)		内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」への取組を実施	H28年度	第1回WS開催(H28.8.28) 第2回WS開催。災害・避難カードの作成。(H28.11.20) 第3回WS開催。避難訓練を実線。(H29.1.29)	
・出水期前における連絡体制の確認の実施	平成30年出水期まで	検討中	【内容】 ・関係機関での調整 ・ホットラインの構築 【時期】 ・H30年度～	・肱川(上流域)の水位周知区間において、西予市と「ホットライン」の構築	平成29年度から検討	・肱川(宇和川)において、西予市と構築済。 【内容】 水位周知河川に指定予定の小田川(内子町清～宿間)において、内子町と構築予定。 【時期】 平成30年5月										・洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える「ホットライン」を構築し、毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	毎年出水期までに実施	・大洲市とのホットライン構築については合意済。 【内容】 出水期前に協議会において連絡体制を確認 【時期】 毎年出水期前	
現在未指定の小田川について、指定以降は県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	平成33年度を目途		現在未指定の小田川について、指定以降は県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	県管理区間については、指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施し、「取組方針」にとりまとめ。 ・水位周知河川や市町の役場等に係る河川の内、必要と思われる河川において、簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報の提供方法等を検討。	平成29年度から検討	・小田川(内子町清～宿間)について、浸水想定区域図を作成済。 【内容】 水位周知河川に指定予定。 【時期】 平成30年5月 【内容】 水位計設置を検討 【時期】 平成30年度													

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																			
		・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催及び共同点検の実施	B	・国が実施するトップセミナー及び共同点検の参加	H27年度から毎年実施	・減災対策協議会参加(H29.5.31) ・肱川・矢落川連絡会後重要水防箇所点検を実施(H29.5.16)	引き続き実施	・減災対策協議会への出席	H28年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31)	引き続き実施	・減災対策協議会への出席	H28年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31)	引き続き実施	・減災対策協議会への出席	H28年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31)	引き続き実施
		・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	H																
		・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料の作成・配布	A、H	・災害情報提供のチラシ等による広報・周知	H28年度	・土砂災害説明会等で災害情報説明後資料を配布、説明 ・減災協議会の実施に関するニュースレターの配付(H30年3月) ・自主防災訓練等による講習で配布、説明	【内容】 自主防災訓練や公民館事業を通して周知 【時期】 平成30年度	・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料について検討	H28年度から実施	・総合防災マップや水防チラシ等を活用した防災・減災啓発の実施	引き続き実施	・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料について検討	H28年度から実施	・新たな浸水想定地域、防災情報を掲載した総合防災マップを作成するとともに、ハザード情報をweb上に公開。 【内容】 総合防災マップを活用した出前講座等、啓発活動の実施。 【時期】 年間をとおして随時。	・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料について検討	H28年度から実施	情報を共有し連携して実施		引き続き実施
		・小中学校及び自治会等における洪水被害の歴史等を踏まえた水災害教育を実施 ・防災教育に関する支援を実施する学校を決定し、指導計画の作成支援に着手。作成した指導計画を関連市町村における全ての学校に共有	A、G	・課外授業等での防災センター施設見学等の利用促進について検討を実施。 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定に関する自治会等への説明の実施 ・防災教育に関する支援校での教育実施、指導計画等共有	H28年度 平成29年度 (防災教育支援校関係)	・若宮地域自主防災組織の取組(H28.7月30日) ・「新町駅前どか市」でのパネル展等実施(H28.10.16) ・防災力向上キャンプにおいて、家族及び自主防災組織に水災害教育を実施。(H29.1.7) ・大洲市自主防災組織会議にて想定最大浸水想定の説明を実施(H29.5.30) ・防災教育について、曹田小学校と打ち合わせを実施(H29.10.30)	【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 H30年度	・指導計画作成支援 ・指導計画の共有	平成29年度から検討実施	【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 平成30年度	指導計画作成支援 指導計画の共有	H29年度から検討実施	指導計画作成支援 指導計画の共有	H29年度から検討実施	指導計画作成支援 指導計画の共有	H29年度から検討実施	【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 平成29年度		
		・ダム操作に関する地元関係者への周知	F	・国の説明会に関係各課が参加し、関係機関等へ周知	引き続き定期的に実施	鹿野川ダム放流警報周知会に参加(H29.4.24)	引き続き毎年実施					・野村ダム放流警報周知会の実施 ・河川利用者への説明	引き続き定期的に実施	野村ダム放流警報周知会に参加(H29.4.26)	引き続き毎年実施				
		・水害等への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会の実施	A、G																
		・各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において速やかに住民等に周知	b	・ハザードマップに過去の浸水区域を掲載	平成26年度	・ハザードマップに過去の浸水区域を掲載し配布		・浸水実績等の情報を共有し住民等へ周知	平成29年度から検討実施			・浸水実績等の情報を共有し住民等へ周知	H29年度から検討実施	【内容】 浸水実績等の情報を住民等へ周知 【時期】 平成30年度	・浸水実績等の情報を共有し住民等へ周知	平成29年度			

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整				
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
・減災対策協議会への出席	H28年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31)	引き続き実施	・水防連絡協議会等において関係者に避難活動の充実を図る啓発を実施 ・関係者で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31) 平成28年5月実施	引き続き実施					・減災対策協議会への出席	H28年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31)	引き続き実施	・毎年出水期までに首長以下関係者で、避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催及び共同点検の実施。また、重要水防箇所等の点検を実施。	H27年度から毎年実施	・減災対策協議会実施(H29.5.31) ・肱川・矢落川連絡会後重要水防箇所点検を実施(H29.5.16)	引き続き実施	
												・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善 ・「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供 ・大雨・洪水警報の改善	H29.5.17 13時提供開始 H29.7.4 13時提供開始 H29.7.7 13時提供開始	情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善 「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供 大雨・洪水警報の改善(H29.7.7)	引き続き実施	【内容】 大雨・洪水警報基準の見直し 【時期】 随時見直しを実施				
・効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料について検討	H28年度から実施	・協議会の実施に関するニュースレターや風水害に関するパンフ等を自治センター等施設に配布 ・水災害に関するマップの配布(旧五十崎地区全戸)	【内容】 ・資料についての検討 ・広報紙等による周知 【時期】 ・毎年実施	・えひめ河川(かわ)メールのチラシ配布	引き続き実施	各種説明会等において、チラシの配布や説明を実施	引き続き実施									・水災害広報の充実として出水があった場合、ニュースレターを発行 ・水防工法の実物展示等による広報の充実 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定を正しく理解するための説明資料の作成	H28年度から	・減災協議会の実施に関するニュースレター(H29.2.15) ・「災害時の避難行動に役立つ！」情報サイト周知チラシの配布(H30.4.15大洲市内配布予定)		
・指導計画作成支援 ・指導計画の共有	H29年度から検討実施	・高齢者教室等で水害に関する説明 ・内子町防災教育推進連絡会にて過去の水害について周知	【内容】 ・国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 平成30年度～	・要請に応じ、出前講座により水災害教育を実施	引き続き実施	出前講座の申込受付	【内容】 出前講座の申込受付 【時期】 引き続き実施									・水災害広報の充実として出水があった場合、ニュースレターを発行 ・水防工法の実物展示等による広報の充実 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定を正しく理解するための説明資料の作成 ・防災教育に関する支援を実施する学校を決定し、指導計画の作成支援に着手。作成した指導計画を関連市町村における全ての学校に共有	H28年度から	・若宮地域自主防災組織の取組(H28.7月30日) ・「新町駅前どか市」でのパネル展等実施(H28.10.16) ・防災力向上キャンプにおいて、家族及び自主防災組織に水災害教育を実施。(H29.1.7) ・大洲市自主防災組織会議にて想定最大洪水浸水の説明を実施(H29.5.30) ・防災教育について、菅田小学校と打ち合わせを実施し、試行授業に向けた資料を作成(H29.10.30,H29.12.15,H30.2.5)	引き続き実施	【内容】 ・菅田小学校にて試行授業を実施予定 【時期】 平成30年5月 【内容】 ・試行授業を踏まえ、肱川流域全域への展開を行うための資料作成 【時期】 平成30年度実施予定
				・国の説明会に関係各課が参加し、関係機関等へ周知	引き続き定期的に出席	野村ダム(4/26)・鹿野川ダム(4/24)放流周知会に出席	引き続き毎年出席									・鹿野川ダム・野村ダム放流警報周知会の実施 ・河川利用者への説明	引き続き定期的に実施	野村ダム(4/26)・鹿野川ダム(4/24)放流周知会を実施	引き続き毎年実施	
				・要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施	H28年度	平成28年12月実施	必要に応じて実施									・要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施	H28年度	平成28年12月実施	必要に応じて実施	
小田川の浸水想定区域設定により、具体的な想定が明らかになった段階で、ホームページや防災啓発活動、防災マップなどを通じて周知を検討する	平成30年度末	・公表内容を協議	【内容】 ・町HPや防災マップで周知 【時期】 平成30年度～	・各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町において速やかに住民等に周知する方法等を検討	平成29年度から検討	未実施	【内容】 ・周知方法を検討 【時期】 ・未定													

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・毎年4月に連絡体制の確認 ・町防災訓練にて伝達訓練の実施	【内容】 ・引き続き町防災訓練等にて実施 【時期】 ・毎年実施	・管理委託している市町との樋門操作点検 ・点検時にあわせて地元水防団・樋門操作員の連絡体制の確認を実施。	引き続き毎年実施	・樋門操作点検を実施(H29.5.18、26) ・水防団との意見交換会(H29.5.19)	引き続き実施									・水防団との伝達訓練 ・樋門操作員との伝達訓練及び避難訓練 ・維持工事による特別巡視訓練	毎年出水期前に実施	・水防団との意見交換会(H29.5.19) ・樋門操作説明会を開催(H29.5.22) ・特別巡視訓練を実施(H29.5.15)	引き続き出水期前に実施
・減災対策協議会等による水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し	引き続き毎年実施	・樋門点検を出水期前に実施	【内容】 ・樋門点検の実施 ・県管理河川における重要水防区域の共同点検及び住民へ周知 【時期】 ・出水期前に実施	・減災対策協議会の開催 ・重要水防箇所の精査・見直し	毎年出水期前に実施	・水防連絡会及び合同点検に参加(H29.5.16)	引き続き実施	・減災対策協議会等に参加し、水防団等との共同点検等の実施【弘川直轄区間・大洲署対応】	毎年出水期前に実施			平成29年5月16日、弘川・矢落川水防連絡会による重要水防箇所の巡視・点検を実施。	出水期前の共同点検に随時参加する。			・減災対策協議会の開催及び重要水防箇所の確認 ・水防団幹部との意見交換会 ・重要水防箇所の精査・見直し	毎年出水期前に実施	・水防連絡会及び合同点検を実施(H29.5.16)	引き続き出水期前に実施
・水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施	引き続き毎年実施	・消防署と連携し水防団や自主防災組織による水防工法訓練の実施	【内容】 ・水防団等と訓練に向けた協議を行う 【時期】 ・毎年実施	・大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練に参加(H29.5.21)	毎年出水期前に実施	・大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練に参加(H29.5.21)	引き続き参加									・水防団、消防団の団員内に、水防工法の指導者育成を実施	毎年出水期前に実施	・自主防災組織による水防訓練の実施(H28.10.16) ・大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練の実施(H29.5.21) ・水防災・減災ハンドブックを作成(H30.3)	引き続き出水期前に実施
消防団の活動を広報誌やホームページ掲載等広報活動を実施	引き続き毎年実施	・消防団と連携し文化祭等のイベントに出向き団員の募集を実施	【内容】 ・水防団等と団員確保に向けた検討を行う 【時期】 ・毎年11月に実施	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討支援	平成29年度から検討	未実施	【内容】 検討実施 【時期】 未定									・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	平成29年度から検討実施	水防月間のチラシ内で水防団員募集の記事を掲載	【内容】 引き続き啓発の実施 【時期】 毎年実施
・大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	平成30年度から検討実施		【内容】 ・町内の防災機関と連携協議 【時期】 ・H30年度～	・大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	平成29年度から検討	未実施	【内容】 検討調整 【時期】 未定									・大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	平成29年度から検討実施		
				・水防倉庫の流出を想定した支援体制の検討	平成30年度から検討開始	未実施	【内容】 協議会等での支援体制の検討 【時期】 平成30年度									・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	平成28年度から検討実施	・水防資機材の必要量の検討を実施	【内容】 水防資機材の必要量についてリバイス 【時期】 平成30年度以降順次リバイス
				・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	平成28年度から検討実施	関係機関との協議	【内容】 関係機関との協議・検討 【時期】 平成30年度									・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	平成28年度から検討実施		【内容】 巡視計画及び避難基準の検討 【時期】 平成32年度までに検討
				・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方策を検討	平成28年度から検討実施	未実施	【内容】 検討調整 【時期】 未定									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整	平成28年度から検討実施		【内容】 水防拠点の代替施設の検討を実施 【時期】 平成32年度までに検討

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町								
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定					
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																								
		・要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び避難訓練の計画の検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施	I	・要配慮者利用施設・福祉施設担当部局と連携して、情報伝達訓練や避難訓練の計画を検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施(区域内関連施設19施設)	H28年度から順次計画		地域防災計画掲載施設に対する避難確保計画策定について呼びかけ実施	【内容】 地域防災計画に掲載する要配慮者利用施設の基準設定及び避難確保計画策定に向けた支援の実施 【時期】 H30年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、関係機関が連携して要配慮者利用施設に対し避難確保計画の作成支援方法について検討する	平成33年度まで			【内容】 継続して検討 【時期】 随時	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した各種訓練及び計画の検討	随時			【内容】 関係機関と連携した訓練及び計画作成支援を検討 【時期】 随時	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した各種訓練及び計画の検討	随時			【内容】 要配慮者利用施設の見直しを行い、以後、情報伝達訓練等の支援を実施予定 【時期】 要配慮者利用施設の見直しはH30年度中	
		・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	/	・浸水想定区域内の災害拠点病院等に関する情報を共有し、管理者等への情報伝達体制・方法を検討	平成29年度から検討実施		災害医療対策会議を開催し検討を行う	【内容】 引き続き検討実施 【時期】 H30年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、災害時に拠点となる施設管理者間の情報伝達体制・方法について検討する	平成33年度まで			【内容】 継続して検討 【時期】 随時	・各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	H29年度から検討実施			【内容】 情報伝達体制・方法の検討実施 【時期】 平成30年度	・各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	平成29年度から検討実施			【内容】 継続して検討 【時期】 随時	
		・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	G	・消防・商工業課等と連携して、浸水区域企業等を訪問、災害情報提供のチラシ等の配布による啓発	H28.5頃		東大洲地区の企業に対し災害時の情報配信サービスについてのチラシ等配布を行う。	【内容】 未登録及び新規事業所に引き続き啓発する。 【時期】 毎年実施																
		・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有 ・耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施し、対策の実施状況については協議会で共有	/	・浸水想定区域内の災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有 ・耐水化、非常用電源等の必要な対策の実施状況については、各施設管理者において順次実施し、実施状況については協議会で共有	平成29年度から検討実施			【内容】 耐水化、非常用電源等の必要な対策の実施状況及び災害拠点病院等の機能確保に関する情報の共有 【時期】 H30年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、必要とされる資機材の整備について検討する ・対策実施状況の共有	平成29年度から検討実施			【内容】 継続して検討 【時期】 随時	・各施設の機能確保情報の共有 ・対策実施状況の共有	H28年度から検討実施			【内容】 情報共有・対策実施状況の共有 【時期】 平成30年度	・各施設の機能確保情報の共有 ・対策実施状況の共有	平成28年度から検討実施			【内容】 継続して検討 【時期】 随時	
2)ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																								
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組																								
		・浸水被害確認システムによる内水状況の共有	Q	・国システムによる内水状況の共有	実施中		内水状況共有中 ・6/16に浸水被害確認システム操作訓練を実施	引き続き共有																
		・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	O、P、m、o	・内水排除対策(ポンプ排水委託)の実施 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮した排水機場、樋門等の情報共有を踏まえた、排水ポンプ車等の配置先の再検討	H28年度から検討実施		内水排除対策(ポンプ排水委託及びポンプ等レンタル契約)の実施	【内容】 引き続き、内水排除対策を実施する。 【時期】 毎年実施																
		・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効用があると認められる土地に係る情報の提供を実施	R	・国、県と協同し、浸水エリアの拡大を抑制する効用があると認められる土地の情報を提供	平成29年度から検討実施			【内容】 浸水エリアの拡大を抑制する効用があると認められる土地の把握及び情報提供 【時期】 H30年度						・国、県と協同し、浸水エリアの拡大を抑制する効用があると認められる土地の情報を提供	H29年度から検討実施			【内容】 国、県と共同し、情報提供の検討実施 【時期】 平成30年度						
		・排水ポンプ車等による訓練の実施	P																					
		・ダム容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	R																					

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、関係機関が連携して要配慮者利用施設に対し避難確保計画の作成支援方法について検討する	H30年度から検討実施		【内容】 ・関係機関と連携協議 【時期】 ・H30年度～	・舩川流域市町が実施する避難訓練の支援	平成28年度から順次計画	未実施	今後検討実施												
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法を検討する	H30年度から検討実施		【内容】 ・関係機関と連携協議 【時期】 ・H30年度～	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	平成29年度から検討実施	未実施	【内容】 検討 【時期】 未定	・浸水想定区域内の災害対策拠点である庁舎に関する情報を共有し、洪水時の情報伝達体制・方法について検討	平成29年度から検討実施	関係機関・団体等との連絡窓口を設定。	連絡手段の多重化及び発災時等のリゾン派遣などによる連携強化を推進する。					・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	平成28年度から検討実施		
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、各施設機能確保情報を共有し、その対策について確認する	H30年度から検討実施		【内容】 ・関係機関と連携協議 【時期】 ・H30年度～	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有	平成28年度から検討実施	未実施	【内容】 共有情報の検討 【時期】 未定									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有	平成28年度から検討実施		
																・浸水被害確認システムによる内水状況を市と共有するとともに、情報の高度化を検討	実施中	・浸水被害確認システムによる情報共有 ・6/15、6/16に浸水被害確認システム操作訓練を実施	引き続き改良を実施
																・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	H28年度から検討実施	・計画規模洪水による浸水被害に対する排水計画(手順書)を作成	【内容】 現地確認等を踏まえて排水計画をリバイス 【時期】 平成30年度に検討
関係機関と共同し、水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	平成29年度から検討実施	検討中	【内容】 ・関係機関と連携協議 【時期】 ・H30年度～	・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	平成29年度から検討実施		【内容】 提供情報の検討 【時期】 未定									・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	平成29年度から検討実施		
																・毎年度1回以上排水ポンプ車等による訓練を実施	毎年実施	・排水ポンプ車訓練の実施(H29.6.6)	・毎年実施
																・ダム容量を有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	H28年度から検討実施	概略検討を実施	【内容】 引き続き検討を実施予定 【時期】 検討を実施中

○概ね5年で実施する取組

項目	事項	内容	課題の 対応	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
				実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
3) 地域経済を支える浸水対策の取組 ① 地域経済を支える浸水対策(東大洲地区の生産性向上)																			
■ 地域経済を支える浸水対策に関する取組																			
		【再掲】 (肱川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・小長浜箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 (久米川) ・久米川工区の段階的嵩上げ	R, p, q, r																
		【再掲】 ・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	G		H28.5頃	東大洲地区の企業に対し災害時の情報配信サービスについてのチラシ等配布を行う。	【内容】 未登録及び新規事業所に引き続き啓発する。 【時期】 毎年実施												
		【再掲】 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	O, P, m, o	・内水排除対策(ポンプ排水委託)の実施 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮した排水機場、樋門等の情報共有を踏まえた、排水ポンプ車等の配置先の再検討	実施中	H28年度から検討実施	内水排除対策(ポンプ排水委託及びポンプ等レンタル契約)の実施 【内容】 引き続き、内水排除対策を実施する。 【時期】 毎年実施												

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
				〈久米川〉 久米川工区の段階的嵩上げ	平成30年度	〈久米川〉 段階的嵩上げの工事推進	〈久米川〉 【内容】 段階的嵩上げの工事推進 【時期】 平成30年度完了									〈肱川〉 ・惣瀬箇所堤防整備 ・小長浜箇所堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダム改造	平成30年度 平成32年度 平成30年度 平成28年度 平成30年度	・惣瀬箇所、小長浜箇所、旧堤撤去、鹿野川ダム改造着手。	【内容】 ・目標時期に完成するよう事業を推進
																・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	H28年度から検討実施	・計画規模洪水による浸水被害に対する排水計画(手順書)を作成	【内容】 現地確認等を踏まえて排水計画をリバイス 【時期】 平成30年度に検討